

第2次長野県スポーツ推進計画原案のパブリックコメントの結果について

スポーツ課

1 募集期間 平成30年1月26日（金）～2月26日（月） 32日間

2 ご意見の状況

- ・ 県民意見提出者 2名 意見数 13件
- ・ 関係団体 3団体 意見数 6件
- ・ 市町村教育委員会 3団体 意見数 8件 計8名・団体 27件

3 項目別意見数の内訳

項目（計画原案の目次による分類）	件数
計画全体	15
10年後の目指す姿と施策の展開	
基本目標1 子どもの運動・スポーツ機会の充実	5
基本目標2 生涯を通じたスポーツ機会の充実	5
基本目標3 全国や世界で活躍する選手の育成	2
基本目標4 スポーツの持つ力の多面的活用	0
2027年第82回国民体育大会及び第27回全国障害者スポーツ大会の開催に向けて	0
合計	27

第2次長野県スポーツ推進計画原案に対する県民・団体の皆様からのご意見及び県の計画案への反映の考え方

項 目	ご意見の概要	計画案への反映対応案
計画全体	<p>過疎化、少子化によって従来通りにはいかないという認識が重要である。比較的人口が集中している地域とそれ以外の違いを認識し、地域に合った計画とすべきである。</p> <p>統廃合によって通学距離や通学時間が増える、登下校時刻が制約されるという問題が生じているが、部活動は家族の協力を前提とすべきではない。具体的な計画については、当事者(未成年者を含む)の意見を代理人を通さずに直接聞いて反映させるべきである。</p> <p>学校以外でも過疎地(過疎指定されていない地域を含む)は大変不利な状態にあるので、できるだけ機会均等になるような対策が必要である。</p>	<p>ご意見をいただきました点につきましては、今後の事業実施段階で参考にさせていただきます。</p>
計画全体	<p>学習障害の生徒が急増しているため、その原因の究明と対策はスポーツの観点からも急務である。特に生活環境・生態系に問題があれば逃げ場がない。障害者権利条約、障害者基本法、をスポーツ(競技スポーツに限定しない)の運営と設備に生かすために、県庁の福祉部門や障害者団体を含めた検討組織を作るべきである。</p>	<p>ご意見をいただきました点につきましては、今後の事業実施段階で参考にさせていただきます。</p>
計画全体	<p>学校での部活動については、自由な意志による参加、安全の確保、「適切な指導による」楽しさと能力向上、が重要だが、現状はかなり異なる。</p> <p>移動については、教員、保護者、関係者に頼ることを禁止して、公共交通機関か認可されている事業者を利用すべきである。</p>	<p>ご意見をいただきました点につきましては、今後の事業実施段階で参考にさせていただきます。</p>
計画全体	<p>貧富の差が広がり、子供の貧困も増えている。</p> <p>スポーツ関係の費用を捻出するために必要な支出を削ることがないようにすべきであるし、十分な費用がかけられないために惨めな思いをしなくて済むような対策が必要である。</p>	<p>ご意見をいただきました点につきましては、今後の事業実施段階で参考にさせていただきます。</p>
計画全体	<p>指導者は、その団体の目的を理解し、適切な指導力を備えた人にすべきである。(当然ながら、体罰を含む心身の暴力は許されない。)</p> <p>必ずしも資格は必要としないが、危険を伴う競技では、単に資格や経験だけではなく、目的に合った指導力であるかどうかを見極めなければならない。</p> <p>民間のスポーツ団体、及び、指導を伴う施設(ジム、プールなど)では、常勤指導者の氏名、資格、指導歴を明示すべきである。</p> <p>学校の部活動では、(教員であると部外者であろうと)安全と対象者への理解は不可欠である。特に教育の一環として行うことを十分理解して、生徒の心身に悪影響を与えないようにしなければならない。</p> <p>学校の授業では、様々な状態にある生徒がいることを前提にすべきである。</p> <p>公共スポーツ施設を利用させる場合には指導体制を確認すべきである。特に危険を伴う競技では安全が確認できない限り利用させるべきではない。</p> <p>公園、道路、など、公共の場所では他の利用者を妨害しない、自他の安全を確保することを最重要とすべきである。</p> <p>登山は自然を相手にするので、天候、状況、参加者の健康状態などに留意し、中止や変更を躊躇しないことが重要である。また、自然を保護することは登山者の義務である。</p>	<p>ご意見をいただきました点につきましては、今後の事業実施段階で参考にさせていただきます。</p>

項 目	ご意見の概要	計画案への反映対応案
計画全体	<p>長野県ならではのスポーツ推進を。ウィンタースポーツだと思います。 (提案)新種目「アイスホッケーシングルス」 冬季、寒冷地でもスポーツを楽しむ機会を増やす目的(メインターゲット「女性」) (効果) ・少人数でもアイスホッケーが楽しめる。気軽にスティックの体験ができる場があると普及すると思います。激しいアイスホッケーは身近ではないので接触しないネットスポーツで日本人向きに。特に女性、子ども、高齢者の生涯スポーツに。 ・チームができずあきらめていた選手にも夢や可能性が広がります。冬季スポーツに縁のない地域でも楽しめると思います。 ・400mリンク内の有効活用。(夏季はインラインホッケー、グラウンドホッケー)</p>	<p>ご意見をいただきました点につきましては、今後の事業実施段階で参考にさせていただきます。</p>
計画全体	<p>長野県はパラリンピックを開催したことがある唯一の県だが、アスリートへの応援は増えているもののアスリート以外の障害者への理解は全く進んでいない。スポーツの前にすべきことは社会参加を確保することであり、最も重要なことは道路の通行である。現状は車優先なので、道路の通行も難しく、階段を使えない人は横断できないのでバスも利用できない。歩道に止まる車も後を絶たない。</p>	<p>ご意見をいただきました点につきましては、今後の事業実施段階で参考にさせていただきます。</p>
計画全体	<p>公園、緑地、河川敷など、気軽に利用できる場所が非常に少ない。 安全に身体を動かすことができる(可能ならボールを使ったりできる)場所を大幅に増やすべきである。 そのような場所では景色や周辺の自然を楽しめるようにすべきである。 また、小中学校のグラウンドや構内の一部(場合によっては学校敷地外)を芝生化することは怪我恐れずに身体を動かすことができるので進めるべきである。(必ずしも綺麗な芝生である必要はない。)</p>	<p>ご意見の趣旨は、「10年後の目指す姿と施策の展開 基本目標2 2 地域のスポーツ環境の整備 『スポーツ施設の充実・維持管理』」において、体操等が気軽にできる場として都市公園等オープンスペースの有効活用を推進する旨記載しておりますが、ご意見いただきました点につきましては、今後の事業実施段階で参考にさせていただきます。</p>
計画全体	<p>スポーツは生活の一部に過ぎないので、個々人に対して親しむように促すことは必要だが、集団として数値目標を設けるべきではない。</p>	<p>ご意見いただきましたとおり、県民が自発性のもとスポーツに親しんでいただくことが重要と考えますが、スポーツの普及状況を把握するため「運動・スポーツ実施率」等の数値目標を設定しております。</p>
計画全体	<p>スポーツが特別なものであるという意識が時にマナーなどで問題を起こす事もあるので、スポーツをする以前に社会人・学生であるという認識を徹底させるべきである。 スポーツを続けられなくなった場合の心身への悪影響を予め知らせることと相談に乗れる体制が必要である。 スポーツでは優れていても他の分野ではそれに対応するだけの能力が備わっていない場合に社会に順応させるための訓練を考慮する必要がある。</p>	<p>ご意見をいただきました点につきましては、今後の事業実施段階で参考にさせていただきます。</p>
計画全体	<p>県立武道館については、建設地選定の不透明さと道路に問題があることを繰り返し指摘してきたが、疑惑は更に深刻になっているので一旦白紙にすべきである。</p>	<p>本県の武道振興の中核となる県立武道館の建設にあたっては、今後も法令等を遵守して進めてまいります。</p>

項 目		ご意見の概要	計画案への反映対応案
計画全体		<p>総合型には多種多様な指導者がいるので問題解決の一翼を担える組織である。それぞれの県内の総合型が連携できるシステムがあるので、助け合える。しかし推進計画にある、子どもの体力推進、部活・障害者スポーツ等々・総合型の今の課題を理解していただく必要があります。世代交代第2世代への移行・運営資金等の問題を抱えています。地域の問題を一緒に解決する仕事を共同で行っていくためには、それに関わる諸経費のほかにそこで働く人の賃金、マネージメント料がないと疲弊してしまいます。それを踏まえたシステムや予算を組んでほしいと思います。問題解決は可能となる各市町村への働きかけもどうぞよろしくお願い致します。</p> <p>今後ともご指導ご支援よろしくお願い致します。</p> <p>総合型の立ち上げの理念(新しい公共としても)と現在の地域課題は一致しているので是非、各地区総合型、総合型連絡協議会など活用していただければ力を発揮できると思います。</p>	<p>ご意見をいただきました点につきましては、今後の事業実施段階で参考にさせていただきます。</p>
計画全体		<p>社会情勢の変化に伴い、スポーツに対するニーズは多様化し、スポーツへの期待も高まってきている現状であります。このような中、地域(市町村)におきまして多種多様な事業を実施し、スポーツ振興を図っております。しかしながら、財政状況が厳しい中、スポーツ振興事業に関わる予算も年々縮小されている現状であります。県からの補助制度等の支援事業について記載できないか。</p>	<p>県の補助制度等については、今後変更等が生じることもあるため計画の中に記載はいたしません。補助制度を含めた県の支援策は、今後も適宜情報提供してまいります。</p>
計画全体		<p>競技スポーツといえども自分のために行うことを忘れてはならない。結果について他人に対して責任を負わねばならないのはプロ選手だけである。能力の高い選手がより良い成績を目指し、他の選手や若い人の目標になることは好ましいことである。</p> <p>しかし、裾野が広がってこそその頂点であって、一部の人たちだけが活動する状態は目指すべき姿ではない。</p> <p>個々人が自分の生活や人生の中で様々なスポーツを楽しみ、機会があれば試合や大会に参加することが基本である。</p> <p>結果にこだわり過ぎたり差別を生むようなことは決して許されるべきではない。これは応援する場合も同じである。</p> <p>仏教には「上求菩提 下化衆生」という考え方があるが、スポーツでも全く同じである。</p>	<p>ご意見をいただきました点につきましては、今後の事業実施段階で参考にさせていただきます。</p>
計画全体		<p>国体の目的は競技スポーツの強化ではない。</p> <p>(国民体育大会(国体)は、広く国民の間にスポーツを普及し国民の体力向上を図るとともに、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するため)</p> <p>県内のスポーツ推進は半世紀に一度の催しに左右されるべきではない。</p>	<p>国体の目的につきましては、ご指摘いただいたとおりですが、国体の本県開催を契機として「スポーツを通じた元気な長野県づくり」の実現を目指しており、競技力向上を含めた様々な施策に取り組んでまいります。</p>
10年後の目指す姿と施策の展開	<p>基本目標1「子どもの運動・スポーツ機会の充実」</p> <p>2 学校体育・運動部活動等の充実</p>	<p>10年後の目指す姿として、運動部活動が適切に行われ・・・とあるが、どこまでが適切なのか難しさを感じる。また、地域の関われる母体として、総合型クラブや信州型コミュニティスクールとあるが、支援しながら成熟させる取組ができないと関わりを期待することは難しいと思われる。</p>	<p>ご意見をいただきました点につきましては、今後の事業実施段階で参考にさせていただきます。</p>
10年後の目指す姿と施策の展開	<p>基本目標1「子どもの運動・スポーツ機会の充実」</p> <p>2 学校体育・運動部活動等の充実</p>	<p>「体育・保健体育授業の支援」について、小学校における専科教員について検討されるようであるが、岡谷市としても小学校時のスポーツ・運動の経験は大事だと考えております。具体的な施策等記載することはできないか。</p>	<p>専科教員については、効果を検証しながら今後の配置について検討してまいります</p>

項 目		ご意見の概要	計画案への反映対応案	
10年後の目指す姿と施策の展開	基本目標1「子どもの運動・スポーツ機会の充実」	2 学校体育・運動部活動等の充実	<p>○適正で効果的な運動部活動の推進</p> <p>現在「長野県中学生期のスポーツ活動指針」では、運動好きで生涯にわたり運動に親しむことのできる子どもの育成を目指す。という趣旨で検討が始まったにもかかわらず、最終的には上限を規制する内容に終始してしまっている。今回の計画においても19ページから20ページにそういう趣旨が記述されているが、現実的な問題が解決されるか疑問であると感じた。</p> <p>「適正で効果的」という尺度は個人や組織により大きな差異があり、運動部活動においても、将来オリンピックを目指すような選手が所属する部と、運動の機会の少ない生徒中心のものとを同一に考えるべきではない(同じである必要はない)と考える。</p> <p>運動部活動の多くが、競技力向上と勝利を目指して行われてきたもので、行き過ぎがあったかどうかの議論は別として、今回、一方で国体での成績向上を目指しながら、同時に運動部活動に制限を加えるような内容になることは避けるべきであると考えます。</p> <p>活動が行きすぎるとなるかどうかは指導者の資質によるものが大きく、そういう意味で指導者の資質向上を促す事に力を注ぐ方が目的達成のための近道であると考えます。</p> <p>「長野県中学生期のスポーツ活動指針」の曲解により県内の運動部活動は混乱し、競技力向上が停滞したことは確かで、純粋に上を目指す選手の多くは、町クラブに移籍するしか目標達成の方法がなくなり、部活動の競技力低下は著しい。</p> <p>次期計画においては高みを目指す選手が希望をもって活動できる運動部活動を維持できる制度としてほしい。</p> <p>現状は順位付けをしない運動会のようなものになってしまったと感じている。目指していたものとかなりずれた結果となっているのではないかと。先ずはしっかり総括していただきたい。</p>	ご意見をいただきました点につきましては、今後の事業実施段階で参考にさせていただきます。
10年後の目指す姿と施策の展開	基本目標1「子どもの運動・スポーツ機会の充実」	2 学校体育・運動部活動等の充実	<p>○適正で効果的な運動部活動の推進</p> <p>中学校における運動部活動の目指す方向は、競技力の向上やアスリートの育成の場ではない、ということを確認に打ち出していきたい。そのうえで、アスリートの育成、勝つことを目的としたスポーツは、地域スポーツ等の振興をはかり、そちらに移行していくことが必要である。</p> <p>現在、本来の部活動が担うべきものを超えたものが中学校の部活動に求められ、それが常識化している現状を変えることが必要である。本計画において提案されている「ゆる部活」が、本来あるべき中学校の部活動の姿であると考えます。部活動を適正化していくことが、まず必要であると考えます。</p> <p>また、これにかかわり、中体連との協議を進め、全国大会、北信越大会等の上位大会の廃止の検討を進めるとともに、それにかわる地域スポーツやスポーツ団体が主催する大会等の支援を図ることが必要であると考えます。</p>	ご意見をいただきました点につきましては、今後の事業実施段階で参考にさせていただきます。
10年後の目指す姿と施策の展開	基本目標1「子どもの運動・スポーツ機会の充実」	2 学校体育・運動部活動等の充実	<p>○学校体育・スポーツ活動の安全性の確保</p> <p>長野市教育委員会として、県のスポーツ課が提案した「頭頸部外傷事故発生時の対応フローチャート」を重大なものと考え、校長会等で各校に掲示の指示をすると共に、教職員だけでなく、児童生徒、保護者への周知徹底を図るように推進してきている。</p> <p>その内容に関しての意見であるが、症状の「あり、なし」を判断することが医療としての専門的な判断ができない者が当たることとなる学校現場において、最終的には保護者が「異常あり」と判断するまで医療にかからない場合が発生することが、よいのかどうか、見解を教えてください。</p>	怪我や事故が発生した場合、その軽重にかかわらず、いち早く保護者に状況を伝えることを基本としています。特に、フローチャートに沿って症状が「なし」と進むような場合も、保護者には子どもの様子を丁寧に伝え、常に保護者が受診の判断をできる状況をつくる必要があると考えております。

項 目		ご意見の概要		計画案への反映対応案
10年後の目指す姿と施策の展開	基本目標2「生涯を通じたスポーツ機会の充実」	2 地域のスポーツ環境の整備	スポーツ推進委員・総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団等の組織力をどのように高めていくのか、その具体策が大きな課題である。特に今回新たに提唱されている「中間支援組織」の充実は、地域スポーツ振興の決め手になると思われる。どのように機能させ、組織していくのか、このことが極めて重要なる。	ご意見をいただきました点につきましては、今後の事業実施段階で参考にさせていただきます。
10年後の目指す姿と施策の展開	基本目標2「生涯を通じたスポーツ機会の充実」	1 ライフスタイルに応じたスポーツ活動の推進	地域(市町村)の特色あるスポーツ活動を尊重しご理解いただく中で、県の支援事業により、地域スポーツの活性化を図って参りたいと考えております。	地域スポーツ活動の支援については、必要な支援を行ってまいります。
10年後の目指す姿と施策の展開	基本目標2「生涯を通じたスポーツ機会の充実」	2 地域のスポーツ環境の整備	これまでの取組として、全体をとおして推進母体が何処なのかははっきりしていないように感じた。県が今後進めることは、現在それぞれの地域やスポーツ団体の取組状況を把握しながら、それぞれの活動をつなげる組織づくり、ネットワーク化の拠点をはっきりさせることではないかと思われる。	ご意見をいただきました点につきましては、今後の事業実施段階で参考にさせていただきます。
10年後の目指す姿と施策の展開	基本目標2「生涯を通じたスポーツ機会の充実」	2 地域のスポーツ環境の整備	少子化により、子どもの人数が減少している中で、競技人口の確保や指導者の育成事業は重要であるが、それを支える競技団体(運営)側の人材確保及び育成も課題と考えております。この課題について記載できないか。	ご指摘いただきましたとおり、競技人口の確保や指導者の育成には地域スポーツ団体とともに競技団体の協力が必要と考えます。特に2027年に本県で開催される国体に向けた競技力向上において、ジュニア選手の発掘・育成は重要課題と認識しており、競技団体を連携していく旨計画案に記載しております。
10年後の目指す姿と施策の展開	基本目標2「生涯を通じたスポーツ機会の充実」	2 地域のスポーツ環境の整備	地域コーディネーターは、平成29年度より長野県障がい者スポーツ協会に設置され、現在松本市の県体育センターを拠点に活動を行っているが、1名体制の中で、障がい者スポーツを支える行政・関係団体・指導者等のネットワークの構築は難しい部分があると思うので、「障がい者スポーツを支える行政・関係団体・指導者等の協力を得ながらネットワークを構築します。」と表記したほうがよいと思います。	ご指摘いただきました趣旨を踏まえ、記述内容を変更しました。
10年後の目指す姿と施策の展開	基本目標3「全国や世界で活躍する選手の育成」	1 選手の育成強化、指導者養成による競技力向上	オリンピックや国体等、国や県が主管(リーダー役)となり開催されるスポーツの祭典は、開催年の前後も含め、影響力は大きいと考えております。2027年の国体・全障スポ大会を大きなチャンスととらえ、競技人口の増、選手の育成、生涯スポーツの普及等、県と地域(市町村)が連携し継続的な取り組みが必要と考えております。	ご意見をいただきました点につきましては、今後の事業実施段階で参考にさせていただきます。
10年後の目指す姿と施策の展開	基本目標3「全国や世界で活躍する選手の育成」	1 選手の育成強化、指導者養成による競技力向上	○障がい者アスリートの養成 『障がい者スポーツ地域コーディネーターが、地域の障がい者スポーツの情報を集め、障がい者とスポーツを支える指導者等とを結びつけます。』 上記の表現だとアスリートの養成ではなく、アスリートでない障がい者と指導員等とを結びつけると取られる可能性があるため、表記の中に「アスリート」か「競技力の向上」といった言葉を入れた方がよいと思います。ただ、地域コーディネーターに限られた期間(2020年度まで)、体制(1名)の中で障がい者アスリートの養成までできるのかと思います。	ご指摘いただきました趣旨を踏まえ、記述内容を変更しました。